香川征・県立病院CS向上推進事業

海部病院での訪問診療・訪問看護の質向上のための遠隔医療の導入

ー医師・看護師間、医療と介護の連携を目指してー

徳島県立海部病院　地域医療センター
伊丹加奈子・影治照喜・花岡賀美・尾嵜沙織・山﨑恵美子・友久恵美

令和６年度　香川征賞　受賞

香川征・県立病院CS向上推進事業

故　香川　征　徳島県前病院事業管理者により、病院事業の推進のために贈呈された寄付金を活用し県立病院の「利用者満足度（ＣＳ）の向上」について、職員から提出された提案のうち最も優れた取り組みを「香川征賞」として表彰するとともに「香川征・県立病院CS向上推進事業」として事業化している



事業内容

- 来院者（患者等）サービスの向上につながるもの
- 医療の質のさらなる向上につながるもの



事業の目的

在宅療養中の患者に対し、

訪問看護師が**ICTによる遠隔医療を導入**することで、

医療と介護の**連携体制の構築**や、

医療従事者間での

質の高い在宅医療を推進する

事業概要

・訪問看護師の携帯電話をiPhoneに変更し、「**Join**」や「**バイタルリンク**」による

遠隔医療体制を導入

→医師と訪問看護師間でリアルタイムで正確な医療・看護連携体制の構築を目指す

・「**Join**」により海部病院医療従事者間連携が深化

①デジタル聴診器により音響の可視化、録音、保存が可能

②訪問看護師のポケットエコーの活用

③デジタルカメラで患者画像を動画や静止画で撮影し診療に活用

・「**バイタルリンク**」により、海部病院訪問看護師と居宅患者を支援している

ケアマネジャーとの連携が強化される

取組の効果
および
今後の課題

購入した機器

iPhone SE 64G（2台）



デジタルカメラ

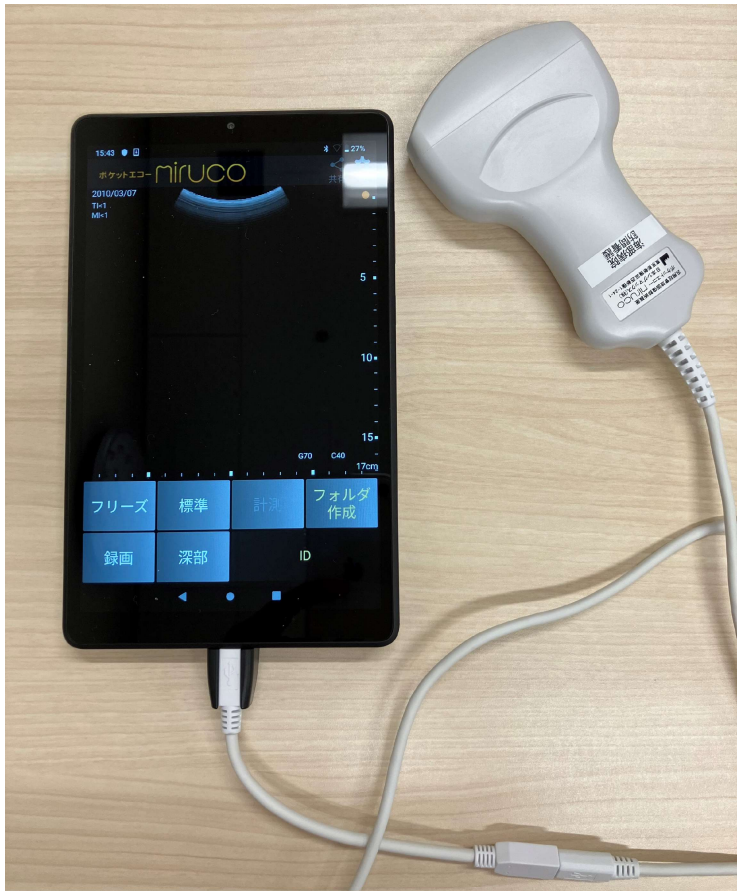


購入した機器

デジタル聴診器



ポケットエコー（miruco）



取組の効果（iPhone）

訪問看護師の携帯電話をiPhoneに変更

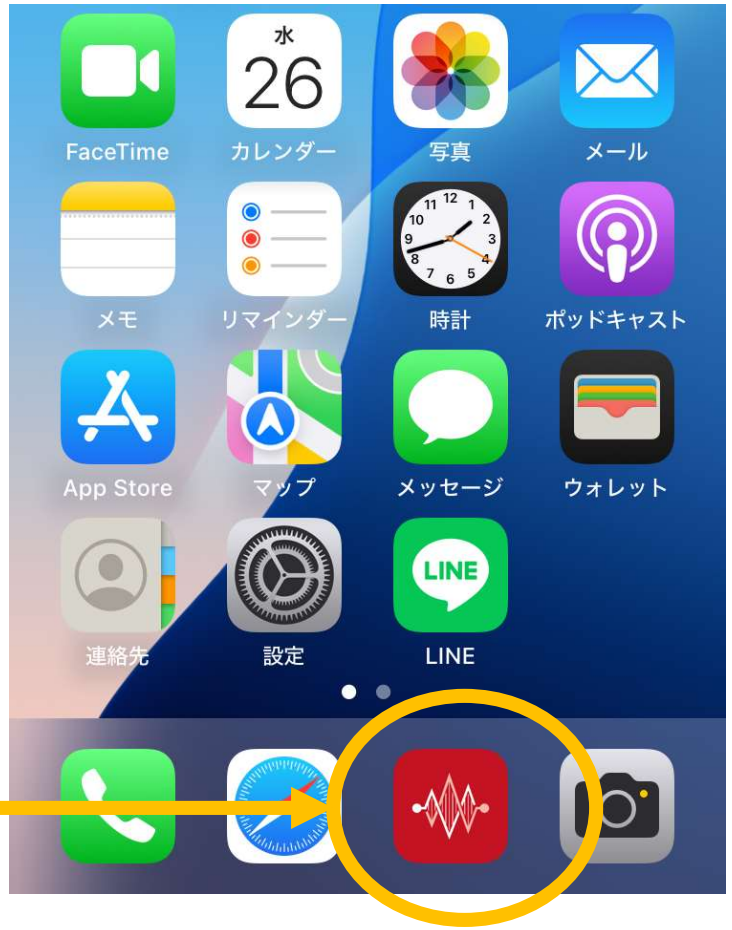
↓

「**Join**」による**遠隔医療体制を導入**

↓

海部病院医療従事者間連携が深化

Join
医療関係者間コミュニケーションアプリ



Join導入前	Join導入後
医師への報告や相談は、夜間・休日も医師の携帯電話に連絡していた。 訪問看護師は、医師の勤務時間外に連絡するためストレスが大きかった。そのため、報告を躊躇することもあった。	夜間・休日など時間や場所を気にすることなく、訪問看護師がチャットにより医師に報告・相談が可能になった。 医師と訪問看護師のコミュニケーションが向上。
休日（オンコール対応中）の訪問看護師の申し送りは「無料通信アプリ」を使用。 患者のイニシャルで申し送りをしていたため患者間違いの可能性があった。	Joinは高度なセキュリティのため、患者名の入力が可能になり、患者間違いのリスクが軽減した。
褥瘡や発疹など皮膚の状態を訪問看護師が訪問先から携帯電話で医師に報告し、指示を受けていた。 口頭で皮膚の状態を報告するのは困難だった。	iPhoneで皮膚の状態を撮影し、Joinで画像を添付。医師が画像を確認でき、リアルタイムで医師から訪問看護師に指示、指導が可能になり、患者への対応や家族への指導がスムーズになった。

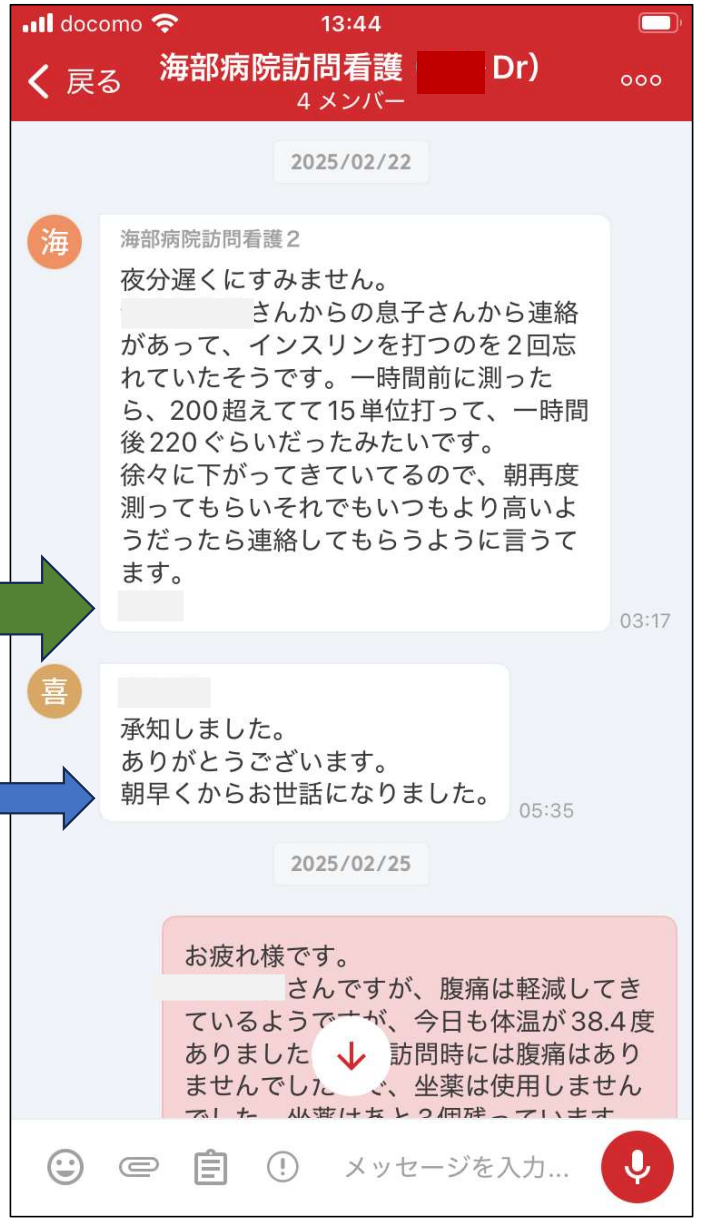


「Join」のチャット活用

- 訪問看護師と主治医のグループを作成
- 訪問看護師が主治医とチャットでやり取り

3時17分主治医にチャットで報告

5時35分主治医から返信



「Join」で画像共有

- iPhoneで患者の皮膚の状態を撮影し、「Join」に添付することで、訪問先にいても主治医からリアルタイムで指示、指導・助言が可能になった

- 主治医が外勤先から検査結果の確認が可能





取組の効果（デジタルカメラ）

デジタルカメラで撮影し
画像を電子カルテに
取り込み、診療に活用

自宅での様子、褥瘡や皮膚の写真を電子カルテに貼り付け診療に活用（可視化）

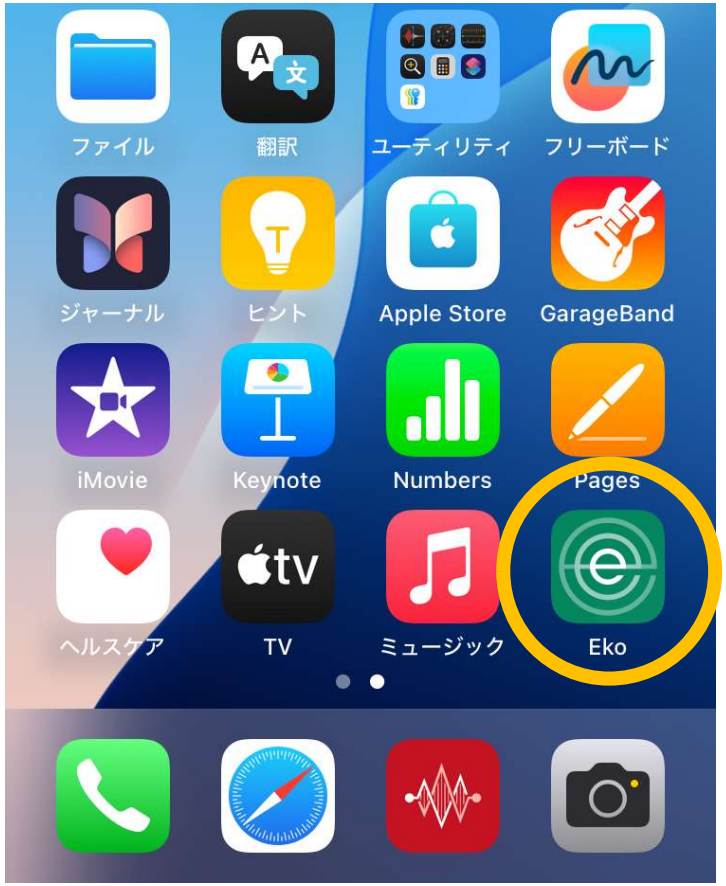


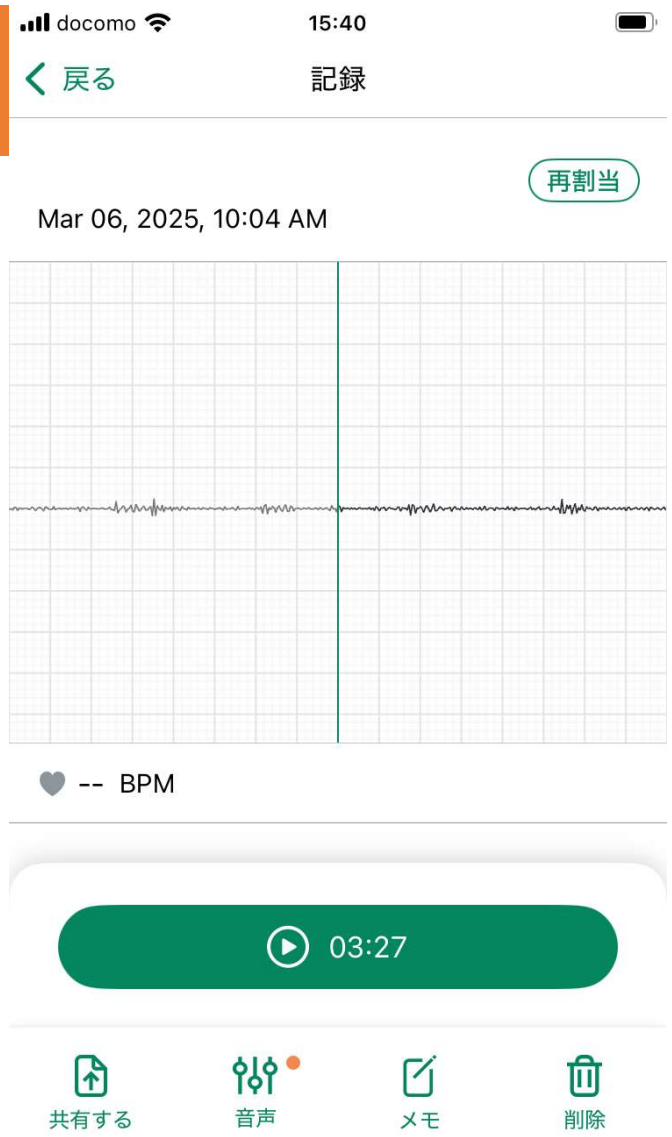


取組の効果（デジタル聴診器）

デジタル聴診器で心音を録音







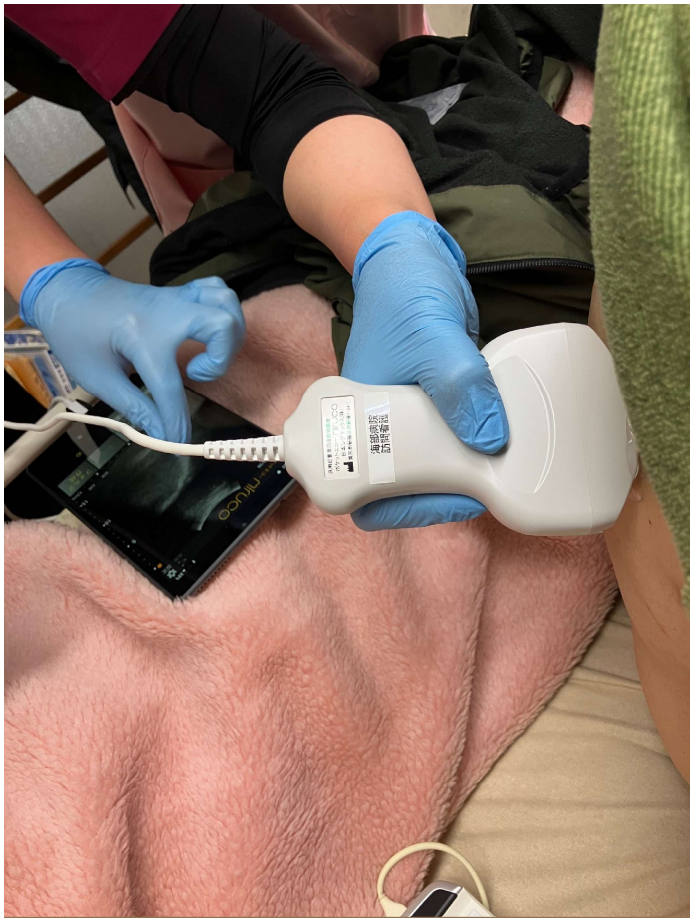
取組の効果と今後の課題（ポケットエコー）

訪問看護師の
ポケットエコー活用

訪問診療時、主治医の指導のもとポケットエコーで胸水貯留を確認

↓

今後、訪問看護師だけで胸水や腹水貯留の確認や、腸や膀胱の状態を確認できるように取り組んでいる





取組の効果と今後の課題（バイタルリンク）

「バイタルリンク（多職種連携情報共有システム）」を活用（準備中）

医療・ケアに関わる関係職種とのICTを活用した情報の共有

→**在宅医療情報連携加算（100点）**



【今後の予定】

・現在、担当ケアマネジャーとの情報共有は電話で行っているが、
バイタルリンクを活用しチャットや画像を添付し情報の可視化を行う

・バイタルリンクを活用し院外薬局と連携を図る

バイタルリンクを用いた医療と介護の連携をめざす

まとめ

CS向上推進事業を活用し

1．「Join」の活用やデジタル聴診器の音の可視化等により、医療従事者間の**遠隔医療体制の構築**につながった

2．「Join」を活用し主治医とリアルタイムで連携でき、**在宅医療の質の向上**につながった

3．訪問看護師がポケットエコーを活用し客観的アセスメントに活かす（勉強中）

4．バイタルリンクを活用し**医療と介護の連携体制の構築を図る**（準備中）



iPhoneに変更し「Join」が
利用できるようになり、
とても便利になりました

今後、
「バイタルリンク」を活用し
医療と介護の連携体制の
構築を図ります

そして、海部郡の
地域包括ケアシステムの
さらなる発展につなげます